

組織現勢(7月1日現在)

組合員数 24,567世帯
 出口数 88,574口
 6月の新規加入 19世帯
 6月の増資口数 790口

No. 322 再生紙を使用しています。



発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
 口座(普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円

6月27日(土) 第34回 通常総代会

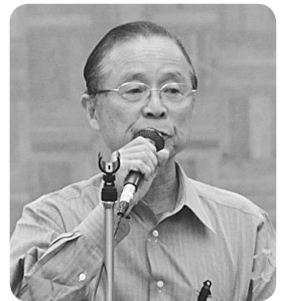
いつまでも安心して住み続けられるまちづくりと 地域・職場まるごと健康づくりをすすめましょう



すばらしい発言に大きな拍手も

城南保健生活協同組合第34回通常総代会が6月27日、大田区嶺町集会所大集会室で行われました。お忙しい中お越しいただいた来賓のみなさまに心よりお礼申し上げます。また、当日は総代のみなさんに熱心に討議をしていただき、2009年度活動方針(案)、予算(案)など8号にも及ぶ議案を満場一致で採択することができました。

アンケート用紙にも多くの方が記入してくださり、「発言された方がそれぞれにすばらしかった」「教訓となり、今後自分の地域でできることを考えていきたい」「毎年参加しているが、今年の総代会は発言が充実していたので時間がいつもより短く感じた」などの感想が多かったのが特徴でした。今総代会を大きな力とし、地域に持ち帰りさまざまな運動を広げていきます。



理事会を代表して
小関理事長の挨拶

協が2年がかりでつくりあげた「虹の家のおかげ」は費用も低額で、まわりの環境も近くに保育園、小学校、公園、さらには大田病院があり、とてもよいのです。このような施設を多くつくってほしいのですが、それを阻んでいるのは今の政治です。しっかりとした展望を示し、老後を安心して住み続けられるまちにしていきたいにも、力をあわせていきましょう。

来賓挨拶



城南福祉医療協会
澤田 看護部長



目黒医療生協
中山 専務理事

中期計画2年目としての2009年度重点課題

- ① 2ヵ所目のグループホームと介護事業を軌道に乗せ、安心して住み続けられるまちづくりをすすめよう。
- ② 地域(購買)生協やNPO法人などとの連携を強めて、日常的に地域を見守るネットワークを拡げ、いっそう頼りになる保健生協をめざそう。
- ③ 社会保障の後退をくい止め、後期高齢者医療制度の廃止をはじめとした保健・医療・介護・福祉の改善をすすめよう。
- ④ 青空健康相談会、「健康運動」「認知症」サポーター養成講座、多彩な班会を旺盛に開催し、地域・職域まるごと健康づくり運動をすすめよう。
- ⑤ 特定健診・特定保健指導をはじめとした自治体検診、アスベスト検診などの充実を求めて自治体への働きかけを強めよう。
- ⑥ 平和憲法を守り、憲法9条、25条をくらしに生かす運動をすすめよう。

確認された2009年度の仲間増やし目標/班会目標

・西品川支部	60世帯	30回
・品川支部	5世帯	5回
・海岸八潮支部	20世帯	40回
・ゆたか支部	70世帯	180回
・大井支部	10世帯	20回
・中延旗の台支部	40世帯	90回
・五反田小山支部	10世帯	5回
・六郷支部	70世帯	50回
・羽田萩中支部	10世帯	20回
・蒲田西支部	5世帯	10回
・馬込山王支部	30世帯	40回
・中央池上支部	20世帯	20回
・うのき雪谷支部	70世帯	50回
・大森糺谷支部	220世帯	140回
・大森西北蒲田支部	60世帯	40回
*全体合計	700世帯	740回



休憩時間にストレッチで気分転換



提案をする植田専務理事



議長に推薦された
国田総代(上)
川居総代(下)



全議案が満場一致で採択されました